

平成29年度（後期）

大学院

聴講生・科目等履修生

開講予定科目

福井県立大学

平成29年度後期授業日程

後 期 (10月1日～3月31日)

後期 授業開始 10月2日(月)～

※10月9日(火)は、月曜日の時間割になります。

期末試験 2月2日(金)～ 2月8日(木)

冬季休業 12月24日(日)～1月3日(水)

※10/28(土)、11/11(土)、12/9(土)、1/27(土)、1/31(水)、2/1(木)は、補講日となる場合があります。

福 井 県 立 大 学

平成29年度 後期 大学院 聴講生・科目等履修生開講予定科目

※大学卒業程度の内容です。

永平寺キャンパス

[経済・経営学研究科]

10科目

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
環境政策	岡	2	月6・7【隔週】	
公益事業特論	浅沼	2	火1・2【隔週】	
経営品質論	森岡	2	火6・7【隔週】	
企業経営と法	福山	2	水1・2【隔週】	
ロシア経済特論	ベロフ	2	水2・3【隔週】	

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
現代日本企業論	川本	2	水6・7【隔週】	
ワケジョップ®(ベンチャー企業・起業(創業)論)	山崎淳	2	木3・4【隔週】	
マーケティング戦略論	北島	2	金1・2【隔週】	
国際ビジネス論	池部	2	土1・2【隔週】	
東アジア経済特論	唱	2	土4・5【隔週】	

[生物資源学研究科 生物資源学専攻]

2科目

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
遺伝資源学	大田	2	水	1

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
微生物機能学	木元	2	木	2

[看護福祉学研究科]

9科目

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
社会福祉援助特論(地域)	瓦井	2	月	7
精神保健福祉特論	吉川	2	火	6
社会保障特論	北	2	火	7
環境保健学特論	米田・平井	2	水	7
権利擁護特論	山口	2	木	6

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
社会政策特論	吉村	2	金	6
成人慢性看護学特論Ⅳ	有田	2	土	3
コミュニケーション特論	北・吉弘他	2	集中講義(末尾参照)	
社会福祉管理・経営特論	榎田	2	集中講義(末尾参照)	

小浜キャンパス

[生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻]

4科目

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
生物資源利用学	大泉・松川	2	月	1
食品タンパク質機能論	水田	2	集中講義(末尾参照)	

授業科目名	担当教員	単位数	曜日	時間割
生殖生物学	北野	2	集中講義(末尾参照)	
細胞培養工学	北村	2	集中講義(末尾参照)	

※集中講義の時間割

生殖生物学	10/31(火)～11/2(木)の1～5限
食品タンパク質機能論	11/8(水)、11/15(水)、11/22(水)、11/29(水)、12/6(水)、12/13(水)の4～5限、12/20(水)の4～6限
細胞培養工学	11/23(木)～11/25(土)の1～5限
コミュニケーション特論	10/7(土)3限、10/14(土)3～5限、10/15(日)1～5限、10/21(土)3～5限、10/22(日)1～3限
社会福祉管理・経営特論	10/21(土)、10/28(土)、11/4(土)、11/11(土)の2～5限

大学院開講予定科目数	25科目
永平寺キャンパス	21科目
小浜キャンパス	4科目

【受講申込にあたっての留意事項】

- <授業時間> 1時限(9:00～10:30) 5時限(16:20～17:50)
- 2時限(10:40～12:10) 6時限(18:00～19:30)
- 3時限(13:00～14:30) 7時限(19:40～21:10)
- 4時限(14:40～16:10)
- 後期授業は10/2(月)～1/31(水)に1科目あたり15回行います。
- 時間割は変更する場合があります。

後期開講科目授業概要【経済・経営学研究科】

授業科目名	授業概要
環境政策	実際の政策形成に役立つ環境論を提示する。そのため経済学がどう使えか実際の政策形成に役立つ環境論を提示する。
公益事業特論	公益事業の費用構造、需要経済的特性を整理し、規制の根拠を理解し、規制の必要性と問題点を分析する。そして、電気通信、電力・ガス、鉄道・バス等の個別公益事業の分野で具体的にどのような規制緩和が進展しているかを理解する。最後に、公益事業の規制のあり方について検討する。
経営品質論	日本経営品質向上プログラムのアセスメント基準書の解説を通じて、経営革新の考え方と諸手法を学習する。その後の事例演習では日本経営品質賞受賞企業をケーススタディとし、その優れた取り組みと成果を考察し、経営品質向上プログラムにもとづく改革案を検討する。
企業経営と法	「会社法」を中心に、企業経営に関する課題について学習・研究する。企業に関する法律の仕組み、株式会社あり方など基礎知識を学習した上で、会社機関の設置、株の発行、経営者の責任、企業再編、M&Aなど事例を分析・議論する。
ロシア経済特論	ロシアには1860年代から急激な近代化、1920年～90年代に社会主義体制の建設、1992年から市場経済化が行われた。現代のロシア経済は安定しているのか、ロシアの経済制度にはどんな特徴があるのか、今後のロシア経済はどうなるのか、という問題について述べたいと思う。次に、ロシアの1990年代の改革は地域経済へ極めて大きな影響を与え、隣国との交流を深めるための新たな可能性が生まれた。日本海に面する日本の地域とロシア極東地域との地域間の交流を順調に促進するためには、ロシア極東経済の特徴と問題点を分析することが必要である。したがって、この授業の主なテーマは「ロシアの市場経済改革の歴史的・国際的背景」、「世界経済におけるロシア」、そして「環日本海経済交流とロシア極東地域」、三つに分かれる。
現代日本企業論	かつて高い国際的競争力の源泉とされてきた日本企業のコーポレート・ガバナンスも、バブル崩壊後の長期不況を経て、現在では様々な困難に直面している。①そもそも日本企業のガバナンスは企業成長にどのように貢献してきたのであろうか。また、②なぜ近年、変化が求められているのであろうか。本講義ではコーポレート・ガバナンスの観点から、日本企業の過去、現在、未来について検討していく。
ワークショップ (ベンチャー企業・起業(創業)論)	ベンチャー企業を分析するための「構造的アプローチ」の全体像を理解し、①起業家、②対象市場の設定、③経営システムを中心にベンチャー企業の成功要因分析を行う。毎回、以下のテーマ毎にレジュメを提出してもらい議論する。
マーケティング戦略論	マーケティング戦略論のための定性的研究方法のレクチャーを行う。マーケティング戦略とは何か／研究とは何か／研究の方法論／事例と理論／事例からいかに理論を生み出すか／リサーチクエッションとは／実践
国際ビジネス論	多国籍企業論を中心に、なぜ企業は海外展開するのか、国際経営の視点から考える。また、現在の東アジア地域で起こる国境を越えた国際分業の構造について貿易特化係数、貿易依存度などを使用して分析、検証する。また、アジアに進出した日系企業の実態調査から各国のビジネス上の問題点や課題を抽出して議論する。
東アジア経済特論	東アジアにおける地域開発および経済協力(EPA)の構想、国際関係の現状と問題、地域開発政策、世界一の市場圏への将来展望などを中心に、この地域における経済交流の意義と構造的長を明らかにする。

後期開講科目授業概要【生物資源学研究科】

授業科目名	授業概要
遺伝資源学	<p>作物の品種多様性とその近縁野生種に見られる遺伝的多様性は、植物育種の重要な素材であるとともに、食文化の多様性と地域(民族)固有性にとっても重要である。本授業では、おもにムギ類とその近縁野生種を対象として、「自然環境と植物の遺伝的多様性」、「人為選択と作物の品種多様性」について、生態遺伝学のおよび民族植物学的視点から講述する。</p> <p>「植物遺伝資源をめぐる最近の世界的動向」についても講述する。</p>
微生物機能学	<p>微生物とは、顕微鏡でなければ見えない微小な生物の総称であり、高等動植物と共通の特徴を持つカビ・酵母から、それらとは細胞構造が明らかに異なる細菌や古細菌、さらにはウイルスに至るまで、系統分類学的に全く異なるさまざまな生物群が含まれている。このように、微生物には生物界で最も大きい種の多様性があり、その多くはいまなお未発見のまま残されていることから、新しい有用機能が発見される可能性が高い。本講義では、微生物がもつ有用な機能の基礎と応用について学習する。</p>
生物資源利用学	<p>水産動物の筋肉タンパク質の主成分であると同時にその食品機能を担っている筋原繊維タンパク質の特性を、水産加工品の品質と関連づけて理解することを目的として、①その変性の速度論と進行様式、②筋肉タンパク質の熱ゲル化反応のメカニズムと加熱ゲルの品質との関係、③筋肉の死後硬直と解硬などを中心に学習する。</p>
食品タンパク質機能論	<p>タンパク質に関する概説と併せて、各種食品タンパク質の性状や機能特性について解説する。また、文献講読等を行うことによってタンパク質の食品機能に関連する最新の研究内容を紹介する。</p>
生殖生物学	<p>生殖は、生物の存続に不可欠なステップであり、様々な内的要因や外的要因によりコントロールされている。本授業では、内的要因の一つであるホルモン等のシグナル伝達から、種々の生殖現象の制御機構について、脊椎動物の研究を中心に説明する。</p>
細胞培養工学	<p>近年の目覚ましい再生医療の中で、培養細胞の樹立や遺伝子導入操作は必須となっている。本講義では、魚類細胞を中心に、培養細胞の研究意義、特徴、作製法、利用法などを講義する。</p>

後期開講科目授業概要【看護福祉学研究科】

授業科目名	授業概要
社会福祉援助特論(地域)	これまでの日本の地域福祉における実践と研究の到達水準をふまえて、その主要な方法論(計画・組織化・評価)の考え方を検討していく。そのうえで、現在取り組まれている市町村における地域福祉の実践の課題について論及する。
精神保健福祉特論	精神保健福祉領域における現代的課題について考察する。まず、精神障害者処遇の歴史を概観し、次に、現代の精神障害者支援のいくつかのキーワードを検討し、最後に、現在急速に進行しつつある『精神障害者生活支援の医療化』のなかでのソーシャルワークの視点を探究する。
社会保障特論	日本の社会保障の根本的問題の一つは、社会保険中心主義と社会手当の未発達、その結果としての公的扶助へのしわ寄せにある。また、そこには特有のジェンダー・バイアスがからみついている。この授業ではそうした視点から、社会保険と社会手当(児童手当・児童扶養手当等)、公的扶助(生活保護等)のそれぞれの代表的なトピックをとりあげ、日本の社会保障の今後の課題を明らかにする。
環境保健学特論	近年急速に変貌している様々な環境要因が正常範囲を逸脱した場合に発生する健康障害や疾病について、遺伝子的背景も加味し、臨床医学的な見地から講述・討論する。また、健康障害や疾病から環境要因について評価を加え、最新の科学的根拠に基づいた健康増進・疾病予防の可能性を探る。(米田) わが国では、急速な少子高齢化に伴い、生涯にわたる健康維持およびそれを支えるための環境整備が強く求められている。とりわけ、一次予防が重要視され、さまざまな施策が講じられている。本講義では、疫学、保健統計について理解を深め、その手法を用いた健康づくり対策の具体的事例を取り上げ解説する。(平井)
権利擁護特論	社会福祉において要請される個別・多様性と法制度において不可避である画一・類型性、この相反する両者を如何にして調整し調和を図るべきかという視点を中心に権利擁護をめぐる新しい潮流を提示し、議論を深めていく。
社会政策特論	労働市場、所得保障、あるいは雇用政策にまつわる文献を解釈する。英語文献を用いることもある。
成人慢性看護学特論IV	慢性病を持つ人の複雑な状態の身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントについて学び、対象の健康問題を判断し、生活行動を支援する方法について考察する。
コミュニケーション特論	福祉や看護現場におけるサービスの提供者と利用者との直接的な対人関係はもとより、その関係に直接・間接に影響を及ぼすコミュニケーションの諸相について、その現状と問題点を多様な研究方法を用いて考察する。また、具体的なコミュニケーション技法(面接技法、カウンセリング、アイスブレイキング、ハラスメント相談、アサーティブネス・アサーション等)の分析、評価、およびロールプレイをとり入れたトレーニングも行う。
社会福祉管理・経営特論	介護保険法改正や障がい者総合支援法制定、更に子ども子育て支援法・生活困窮者自立支援法施行の動きの中で、これからの日本の社会福祉はどのようにあるべきか、受講者の報告を元に議論し、社会福祉経営の角度から研究する。